

令和4年度（2022年度）

管理事業名	シティプロモーション事業				総合計画 の体系	大綱 7 都市魅力			
						政策 3 市民が愛着をもてるまちづくり			
						施策 1 魅力の向上と発信			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 40	シティプロモーション費		
部局名	都市魅力部	予算執行 所属	シティプロモーション推進室						
事業の目的と概要 【目的】 全国的に人口減少・少子高齢化が進む中で、本市が持続的に発展するために、本市が持つ魅力を積極的に発掘・発信し、市民にとって「住み続けたい」「離れても戻りたい」といった市への愛着や誇りが醸成される取組を実施。 【概要】 ・都市魅力創造事業（市民の市への愛着や誇りが醸成される取組の実施、「地方の時代」映像祭の支援）・都市魅力発信事業（吹田市情報発信プラザ（Inforestすいた）の企画・運営、地域の特性を生かした取組の実施、市ならではの魅力向上につながるイベントへの補助金交付など）・大学のあるまちづくり事業（市内5大学等と連携を図り、各機関が有する豊富な知的財産、人材、情報、施設などをまちづくりの各段で生かし、双方の発展に寄与する取組を進める。）・すいたフェスタ事業（運営事業補助金の交付、事務局の一部委託）									

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
SNSによる情報発信回数	回	391	485	563	①すいたんSNS（Twitter・Facebook）及び②市公式Instagram発信回数 目標件数：①市役所開庁日毎日発信、②週2回（火、金）
SNSの登録者数	人	17,439	18,457	20,584	①すいたんSNS（Twitter・Facebook）及び②市公式Instagramの登録者数
情報発信プラザ物販売上げ額	円	3,432,950	2,802,654	4,187,076	情報発信プラザ（Inforestすいた）で販売するシティプロモーショングッズや吹田市関連商品の売上げ額。
吹田市ファンクラブ会員数	人	-	852	1,564	Inforestすいた公式LINE登録者数（令和4年3月17日開設）

II 活動実績・成果

<p>【成果指標1, 2】 ・各SNSの情報発信目標件数は、すべてのSNSにおいて目標達成。（すいたんSNS:460回、市公式Instagram:103回） ・各SNSの令和5年3月末時点でのフォロワー数は、前年度に比べ増加。（すいたんTwitter:1,313増、すいたんFacebook:64増、市公式Instagram:750増） ・すいたんSNSにおいては、アンケート機能を活用した参加型の投稿、季節や時流に合わせた投稿、市とゆかりのある多様な主体との連携した投稿を積極的に実施し、すいたんSNSアカウント自体の魅力向上に努め、市の魅力発信ツールとしての強化を図りました。 ・市公式Instagramは、市民から市の魅力が発信されるツールとして、市民から投稿された市の魅力的な風景をリポスト投稿する形で運用し、同アカウントで開催するフォトコンテストへの応募数は年々増加しており、令和4年度は1,300点を超えました。</p> <p>【成果指標3, 4】 ・シティプロモーショングッズの売上げは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベント出店等が制限されるなど販売機会が減少しましたが、令和4年度は制限緩和と周知展開により、前年度に比べて増加。 ・吹田市情報発信プラザ（Inforestすいた）は、体験を充実させるなどの企画内容の創意工夫と制限緩和により、売上額、来訪者数が共に増加。</p> <p>【財務情報に基づいた評価】 ・主な経常費用は、給与関係費93,032千円、物件費72,402千円で経常費用全体における給与関係費が47.0%と高い割合を占める。本事業は、職員による発案・検討による企画の実施や情報収集、調整等の積み重ねで事業を進めている他、2025大阪・関西万博を活用したシティプロモーションを展開することを見据</p>	<p>え、情報収集、庁内調整を行い、来たる好機に備えつつ、万博全体の機運醸成にも協力しているため、給与関係費の割合が高くなるものです。また、業務委託も活用しながら効果的な事業運営を実施します。 ・担当職員をはじめ、全庁職員がプロモーションの観点を取り入れて日々の業務を積み重ねることができるよう、研修を企画実施。令和4年度は、動画作成研修（広報課と合同開催）、全庁的なシティプロモーションの普及・浸透を図る研修、SNS発信に関する研修（担当職員対象）の3つを実施。</p> <p>【施策の取組をより推進する視点】 ・大学が持つ専門性を活かした連携が全庁的に促進されるように、大学連携推進協議会等の場を用いた協議や個別案件への対応、市と大学の双方から連携希望案件の情報提供を行う仕組みを構築し取り組んだ。 ・万博記念公園、EXPOCITYとの連携事例の増加に取組み、市単独ではない多様な連携により、本市の都市魅力の発信に取り組んだ。 ・2025大阪・関西万博については、シティプロモーションの好機と捉え、更なる魅力発信のため、市民を巻き込んだ魅力発信手法や効果的なシティプロモーションの展開に係る企画のあり方、1970大阪万博開催地である本市ならではの取組を検討し、その着実な実行を見据えて大阪府・市万博推進局をはじめとする市内外の団体との連携の可能性を模索すると共に情報収集。</p>
---	--

III 課題と今後の取組

<p>【都市魅力創造・発信】 更なる情報発信力の強化とフォロワー数の増加に向け、効果的な手法等の検討するほか、市の魅力を伝えるためシティプロモーショングッズの販売・配布にとどまらない展開も検討。また、吹田市情報発信プラザ（Inforestすいた）では、より効果的な都市魅力の発信のため、施設ならではの体験・体感を用いた手法や来訪者の心を動かす企画内容等、来訪者自らが発信したくなる仕掛けの構築を目指す。2025年大阪・関西万博を契機とした効果的なシティプロモーションについても対象に合わせた効果的な手法を検討し実施する。</p>	<p>【大学連携】 大学とのより一層の連携強化に向け、市と大学双方の連携希望に的確に応える活動に注力する。 【すいたフェスタ】 熱中症対策費用や物価高騰による費用増加、経済状況悪化時の協賛金減少等、収支予測に合わせた開催規模の検討等を行う。事務局業務はより効率的な運営に取り組む。 【シティプロモーションの全庁化】 各室課の事業を市民の市への愛着形成等に繋げることを目的とし、SNSやプレスリリースを活用した発信力強化に向けた取組を実施するほか、シティプロモーションの強化につながる職員向けの研修等を実施。</p>
--	---

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	6,983	7,054	71
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	6,983	7,054	71
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	3,699	2,666	△1,032	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	71,260	64,886	△6,375
建物・工作物	3,699	2,666	△1,032	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	71,260	64,886	△6,375
無形固定資産	200	200	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	78,244	71,940	△6,303
建物・工作物	-	-	-	純資産	△74,345	△69,074	5,271
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	純資産の部合計	△74,345	△69,074	5,271
資産の部合計	3,899	2,866	△1,032	負債及び純資産の部合計	3,899	2,866	△1,032

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	6,510	-	△6,510
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	2,117	1,538	2,166	628
経常収入 小計(a)	2,117	8,048	2,166	△5,882
給与関係費	93,923	100,600	93,032	△7,568
物件費	30,056	39,504	72,402	32,899
維持補修費	17	5,501	132	△5,369
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	23,995	15,214	24,766	9,552
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,032	1,032	1,032	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	7,559	6,983	7,054	71
退職手当引当金繰入額	△7,593	9,541	△6,288	△10,169
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	148,989	178,375	197,790	19,415
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△146,872	△170,327	△195,624	△25,298
特別収入	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△146,872	△170,327	△195,624	△25,298
一般財源充当額	161,189	166,339	167,951	1,612
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	14,316	△3,988	△27,674	△23,686

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	2,117	8,048	2,166	△5,882
行政サービス活動支出	163,305	174,387	203,061	28,674
行政サービス活動収支差額	△161,189	△166,339	△200,896	△34,557
投資活動収入	-	-	32,945	32,945
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	32,945	32,945
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△161,189	△166,339	△167,951	△1,612
一般財源充当額	161,189	166,339	167,951	1,612
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【PL】物件費	主な増額理由は、阪急吹田駅前西第一自転車駐車場の美装化を実施したことによる支出増による。
【PL】維持補修費	主な減額理由は、吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)のリニューアルに伴う内装修繕が完了したことによる支出減によるもの。
【PL】負担金・補助金・交付金等	主な増額理由は、すいたフェスタ開催に伴うすいたフェスタ運営補助金の執行額の増加によるもの。
【PL】寄附金	令和3年度には(一社)吹田にぎわい観光協会解散に伴う残余財産の寄付があったことによるもの。
【CF】投資活動収入	阪急吹田駅前西第一自転車駐車場の美装化について、環境まちづくり基金を活用。

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
市民1人	コスト	395円	471円	519円
	実績	376,944人	378,781人	381,238人
情報発信プラザ	コスト	181円	223円	122円
	実績	151,164人	174,134人	251,846人

分析内容 市に対する愛着形成につなげる取組として阪急吹田駅前西第一自転車駐車場の美装化に必要な経費を支出したことにより、市民1人当たりのコストは増加しました。吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)に係る費用(30,719千円)を実績で割って算出。

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	92,639	6,339	11.14
会計年度任用等	6,819		
特別職非常勤	-		
合計	99,458		

分析指標

(単位：%)

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		54.2	64.2	74.2	10.0
施設維持補修費比率		0.2	53.3	1.3	△52.0
経常費用対公共資産比率		1443.4	1728.1	1916.2	188.1
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		-	-	-	-
一般財源充当比率		98.7	95.4	82.7	△12.7